**２０２３年７月30日(土)　ヴェルウィン（あさま）会場**

仲　寒蟬

木下闇真昼の端の見えてをり 藺草慶子

出張の刑事手で割る真桑瓜 藤原くに子

〇 鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

瓜揉むや禅智内供のそれの如 一澤千鶴子

夏草に山羊の乳房の仄紅し 島田洋子

小林貴子

風穴の壁ななふしの張りつきぬ 坂東文子

〇 鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

虚子庵に門二つある涼しさよ 山本よしえ

百日紅真昼の景を裏返す 仲　寒蟬

老鶯の流暢にして本井英 家登みろく

藺草慶子

風穴の壁ななふしの張りつきぬ 坂東文子

〇 先生やくるりと丸め夏帽子 一澤千鶴子

鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

朝の日のまぶしくなりぬ夏の露 坂東文子

瓜畑小諸に地名乙女あり 小林貴子

塩川　正

瓜畑小諸に地名乙女あり 小林貴子

ただ蝉の世や本丸も二の丸も 木代爽丘

一面の青田に日矢のさしてをり 鈴木栖子

浅間山雲崩れけりかき氷 大関博美

店構へ低く夏日の坂の町 渡邉美保

島田洋子

幾年を夕日見送る藪甘草 大関博美

ただ蝉の世や本丸も二の丸も 木代爽丘

〇 鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

恐ろしき程に氷室の冷気かな 清水ゆき子

氷風穴出づれば眼鏡曇りけり 小山久米子

清水ゆき子

片蔭の途切れてあそこまで飛ぶか 仲　寒蟬

〇 炎天の白線跨ぎ美術館 一澤千鶴子

缶ビール冷やす水槽瓜浮かべ 島田洋子

葉にのりて高原の蝿吹かれをり 鈴木光影

天守台まで炎天を這いあがる 山本よしえ

鈴木光影

小諸城址夏雲すこし硬さうな 家登みろく

片蔭の途切れてあそこまで飛ぶか 仲　寒蟬

〇 百日紅真昼の景を裏返す 仲　寒蟬

空堀に渡す木橋や蟬しぐれ 渡邉美保

夏蝶や門扉傾く家より来 一澤千鶴子

鈴木栖子

鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

虚子庵に門二つある涼しさよ 山本よしえ

空堀に渡す木橋や蟬しぐれ 渡邉美保

〇 夏草に山羊の乳房の仄紅し 島田洋子

荒々し小諸の蝶と出合ひけり 清水ゆき子

坂東文子

瓜畑小諸に地名乙女あり 小林貴子

小諸城址夏雲すこし硬さうな 家登みろく

〇 木下闇真昼の端の見えてをり 藺草慶子

片蔭の途切れてあそこまで飛ぶか 仲　寒蟬

店(たな)構へ低く夏日の坂の町 渡邉美保

大関博美

ただ蝉の世や本丸も二の丸も 木代爽丘

高原を二つに割りて蟬の声 鈴木光影

踏みゆけば数多の蜻蛉立ち退けり 北原みゆき

姥百合やここを下れば風穴群 藺草慶子

〇 泉湧くところ今なほ虚子の声 井上　基

小山久米子

風穴を山ふところに蟬時雨 坂東文子

ただ蝉の世や本丸も二の丸も 木代爽丘

片蔭の途切れてあそこまで飛ぶか 仲　寒蟬

〇 炎天の白線跨ぎ美術館 一澤千鶴子

浅間山雲崩れけりかき氷 大関博美

北原みゆき

鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

〇 葛茂る城址貫く高速道 木代爽丘

葉にのりて高原の蝿吹かれをり 鈴木光影

火照る身を冷気の捉ふ氷室かな 島田洋子

萍の動かぬ村の真昼かな 藺草慶子

藤原くに子

〇 夏蝶や門扉傾く家より来 一澤千鶴子

夏草に山羊の乳房の仄紅し 島田洋子

ただ蝉の世や本丸も二の丸も 木代爽丘

木下闇真昼の端の見えてをり 藺草慶子

虚子庵に門二つある涼しさよ 山本よしえ

山本よしえ

店（たな）構へ低く夏日の坂の町 渡邉美保

炎帝に頭を垂れて坂の町 北原みゆき

幾年を夕日見送る藪甘草 大関博美

〇 木下闇真昼の端の見えてをり 藺草慶子

七節や己の長さ持て余し 北原みゆき

渡邉美保

荒々し小諸の蝶と出会ひけり 清水ゆき子

鳴き出しは火打石めく油蝉 家登みろく

七節や己の長さ持て余し 北原みゆき

〇 葉にのりて高原の蝿吹かれをり 鈴木光影

老鶯の流暢にして本井英 家登みろく

一澤千鶴子

〇 藤村のこの簡素なる夏の空 鈴木光影

五の郭より炎天の城址かな 渡邉美保

片蔭の途切れてあそこまで飛ぶか 仲　寒蟬

風穴の隅に蛙の青と茶と 小山久米子

まな板に転がりさうな黄なる瓜 山本よしえ

井上　基

夏薊はだかる先の遠浅間 木代爽丘

ヤッホーの木霊や秋の麒麟草 塩川　正

太陽と雨とラジオや瓜畑 小林貴子

記念樹やいつか大きな木下闇 大関博美

〇 七月の風湧き上がる古址に立つ 木代爽丘

木代爽丘

小諸城址夏雲少し硬さうな 家登みろく

姥百合の背筋がしやんと伸びている 清水ゆき子

くやしいがパナマ帽よく似合ふ人 井上　基

放牧の牛がそつぽの鬼躑躅 塩川　正

〇 藤村のこの簡素なる夏の空 鈴木光影

家登みろく

夏薊はだかる先の遠浅間 木代爽丘

興亡の丘をさまよふ夏の蝶 井上　基

風穴や夏の落葉を吹き上ぐる 島田洋子

〇 瓜揉むや禅智内供のそれの如 一澤千鶴子

小心を夏高原に連れてくる 鈴木光影